

# EFFECTOR

For an Inclusive Society

vol. 4

## 鳥取県包括協定締結 10 周年記念特集号



3LAPARTMENT@ 田中宮  
鳥取ソーシャルな旅



### 3L APARTMENT@ 田中宮

田中宮市営住宅自治会、京都市、龍谷大学が協定締結、田中宮市営住宅に龍谷大学の学生 3 名が居住し、暮らしながらゆるやかに自治会や地域活動に参加するプロジェクト。2019 年 4 月スタート、龍谷大学経営学部 1 名、政策学部 2 名の初代学生が入居、住民の方々に暮らしについて色々教えていただきながら、持ち前のコミュ力爆発。2020 年は入居者が 6 名に増加。学生が楽しく暮らすとともに、大量の大人達が嬉々として市営住宅の“関係住民”に。

しばゆう (柴田悠矢)



政策学部 3 年生。大島ゼミ。大阪府豊中市出身。2020 年度は田中宮 PJ 最年長、責任感に身もだえる。桃陵団地に関わる政策学部 Ryu-SEI GAP 「はうすまいる」出身。

かしょう (石井花昇)



政策学部 2 年生。深尾ゼミ。奈良県奈良市出身。物静かでクールな思慮深い男。魚と卵と女子が苦手。母性本能をくすぐるみんなのアイドル。

たなかず (田中和哉)

経営学部 4 年生。藤岡ゼミ。鳥取県岩美町出身。田中宮 PJ2019 最年長の兄貴分、秘める故郷愛。卒業後は中書島亀馬通り商店街の「ホルモン専科 カメゾウ」で地域のために働く。

案内人：横地さん



鳥取県職員、関西で鳥取県の情報を提供する「鳥取県関西本部」勤務。中国語ペラペラ、元デザイナー、論文執筆、知り合い多数の規格外職員。鳥取を網羅する衝撃の知識量。あんばん記載の「シャミネ」は鳥取駅直結のショッピングビル。

# 変人

## 変える人

鳥取県と龍谷大学の連携協定締結 10 周年を記念して、龍谷大学の地域に関わる学生の視点で、鳥取県の魅力に触れる「鳥取ソーシャルな旅」。「3L APARTMENT@田中宮」のメンバーの3名に取材に行ってもらいました。最年長の田中さん（たなかず）は、鳥取県岩美町の出身。鳥取で、地域や暮らしを変えようとしている「変人」（変える人）にたくさん出会いました。

### 1 日目

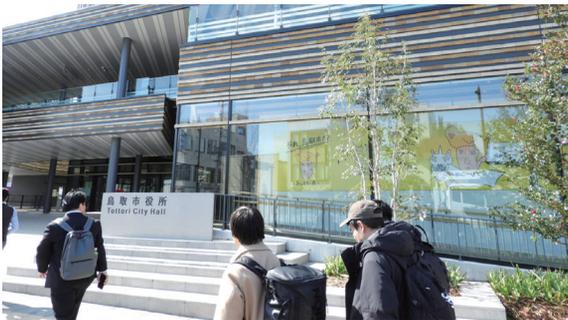
#### 12:00 鳥取駅 横地さんにご挨拶



京都駅に 8:30 集合、スーパーはくと 3 号で出発。電車の中では訪問先について再度復習。鳥取駅までは 3 時間。鳥取駅では、鳥取県関西本部の横地さんが待っていてくださいました。3 日間宜しくお願いします！

#### 13:00 鳥取市役所

まずは鳥取県中心部における行政の取り組みについて知ろう、ということで鳥取市役所へ。半年前に移転したばかりの庁舎。ガラス張り「マジと顔館！」との声も。



# 鳥取市役所マジと顔館

議会で大変お忙しい中、都市整備部中心市街地整備課の北村さんにお話を伺いました。

2004 年に鳥取市が 8 町村の大合併を行い、面積が広くなり行政コストが増える一方で、歳入は減少傾向。中心部は公共施設、学校等の都市機能を持つコンパクトな街づくりをしなければいけないという課題が。

しかし住んでいる人々の生活拠点は元々の行政区にあるため、地域の事情を無視してはいけません。だから「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を目指しているとのこと。

一方で鳥取市は 47 都道府県の県庁所在地の最高路線価で唯一下落、中心市街地の地価はこの 15 年で 4 割ほど下落しているという厳しい状況。

そんな中、行政が事業者と不動産所有者を繋げる、「リノベーションスクール」を開講。大事なことは民間で動いてくれる人々をつくること、とのことでした。

北村さんは、その後鳥取市街を案内してくださいました。ありがとうございました！



4 車線道路をコンスペースにした「バードハット」



3L 生の鋭い質問が光った

#### 14:30 Base8823 (八頭町)

30 分ほど田園風景の中を車で走り、八頭町へ。あぜ道のような道路に入りしばらく進むと、黒板塀の古民家を改装したゲストハウス「Base8823」が。



山村さん「天気もいいしウッドデッキで話そうか！」

スズキのフラッグシップバイク「隼」で鳥取県を訪れた当時大阪在住の山村さんは、文化財でもある隼駅の写真を撮りにいったのをきっかけに鳥取に魅せられる。

隼乗りが徐々に集まるようになると、バイカーをもてなそうと地元の方による「隼駅祭り」が始まり、第 1 回の参加者 7 名から 2019 年の第 11 回には 2300 名に。

全国から隼ファンが集まって手伝うようになり、バイカー仲間をもてなしたいという思いから、山村さんはバイカーのためのゲストハウスをスタート。

山村 バイク乗りは普通の観光客と違って、渋滞無くて景色がきれいで飯が美味い＝サイコーって生き物なんだよね。この辺には農林水産業があるから、民家がなくても道路が整備されて、道がきれいなのにマンホールがないし、人がおらんところに道走るとるんも最高なんよ。おもろい！

一同 山村 でも、ここに宿を作るまでは大分考えて、春夏秋冬全部のシーズンに遊びに来て、本当に住めるかどうか確認した。

た バイク乗りたくなってきた！

山村 スズキはすごい会社で、隼駅の人たちと隼乗りの人たちのお祭りだから、ということを大事にしてくれて、自社の名前をパーンと出さずに、縁の下の力持ち的に支援をずっとしてくれてるんよ。

し バイク乗りのコミュニティって魅力的ですね…俄然バイク買いたくなってきました！



時速 100 キロまで 2.6 秒の隼



レストラン「Home 8823」でもお話を聞かせていただく

#### 16:00 大江ノ郷自然牧場 (八頭町)

25 年前に鶏の自然飼育を行う養鶏場からスタートし、カフェ「ココガーデン」や食と農を楽しむ複合施設「大江ノ郷ヴィレッジ」など、年間 30 万人が訪れる超人気スポットになった大江の里自然牧場へ。

高木 大江の里リゾート広報の高木です。いまでこそ沢山の施設がありますが、我々みんなで、その原点の卵を本当に大事にしています。店の中をご案内しますね。



カフェバルやジェラート、バーガーなど美味しいもの満載の「大江ノ里ヴィレッジ」

た ここは、パンケーキがめちゃくちゃ有名どころだね。高木 天美卵（てんびらん）という卵を養鶏場で作る場所から、こだわりぬいて作っているんですよ。

た あっ！なんでここにいるん？

?? たなかくーん！

バームクーヘン売り場には、たなかずの高校の同級生が働いていたのでした。



たなかずの同級生ゴリエちゃん

併設の本日の宿泊先、小学校を改装した宿泊施設「OOE VALLEY STAY」へ。小学校だった歴史を大事にしつつ、館内にはスイートルームや囲炉裏のレストランなど超ファッショナブル。

小学校が廃校になるという話がわかったときに、大江でお世話になっている会社として、このまま失くしてよいのかと事業をスタート。

地元の方々をお呼びしてオープンセレモニーを行い、グラウンドを週に 1 回地域の方に無料開放、地域の運動会や敬老会に開放など、大江という土地と人々にどう根差すかをとても大切にしておられます。



外観も小学校の面影を残しつつ洗練されている OOE VALLEY STAY

事業創出部の那和さんにお話を伺いました。

か 企業が地域に根差すのは難しいことが多いと思うのですが、どのような努力をされていますか。

那和 地域の伝統的な芸能『手踊り』の保存会に参加する従業員が、ホテルと地域の橋渡し役になって、宿泊者が作る竹灯籠の材料を地元の方から買い取ったりしています。我々はこの大江の郷に来てくださることに意味がある、と考え、地域に根差すことについて全くブレしていません。多角化はむやみにせず、一部を除き全てをこの大江で展開しています。苦しい時期もありましたが、ブレずに、価値を創りながら維持していくことが大事だと思います。



那和さんに日本酒 BAR でお話を伺う



大江小学校時代の横断幕



ボルダリングジム化した元体育館

横地 6 次産業化とはよく言われることですが、200 名近くの雇用を生み出し、地域のブランディングに大きく寄与いただいています。自治体としても非常にありがたいです。ここまでの成功例はなかなかありません。

お話しを伺った後、天体用の「双眼鏡」を借りてグラウンドへ。

し めっちゃ星見えますね！

横地 鳥取県は星がよく見えるので「星取県」と呼ばれていますが、この時期はいつもは天気が悪いので、これだけ見えるのは大当たりです！



## 2日目

### 9:00 Cafe ニジノキ (八頭町)



Cafe ニジノキ。たなかずの家から近い。

翌朝大江を出て岩美町「Cafe ニジノキ」へ。浦富の海水浴場のすぐ近くにある、カレーとコーヒーが人気のおしゃれなカフェ。運営する「うみねこ舎」さんは、岩美町の地域おこし協力隊として任期を終えた方が立ち上げた地域活性化団体。「Cafe ニジノキ」の他、定住に向けて岩美の暮らしを体験する中期滞在施設「シェアハウス TACOBUNE」、移住女子の古民家暮らしを発信する「古民家くぐって」も運営。

副代表の田中 GON 司さんにお話を伺いました。岩美町出身のたなかずが、地元に戻った時にお店主催のフリーマーケットを手伝いに行ったりと、旧知の仲。

田中 G 岩美の暮らしを僕ら自身が楽しむことを大事にしています。そうすれば伝播すると思ってるんだよね。岩美がもっと面白くなればいいな、岩美で育った人がこっちに帰ってきたらいいな、ってね。

た 僕は岩美出身で、帰りたいという思いはあるんですけど、空回ってばかりでどうしていいかわからないんですよね...

田中 G 田舎の暮らしは自分で色々やらないといけないことも多いし、移住したい、移住したらこれ必要だけどもないなあ、友達ほしいよね、っていう人で集まっています。この場所を窓口にして、楽しいなと感じたり、理想の暮らしのイメージが合ったら、一緒にやろう、っていう。

### 9:30 Cafe ニジノキ 第2部

田中 GON 司さんはお仕事のため、ここでお別れ。続いて「シェアハウス TACOBUNE」の田中泰子さん、Cafe ニジノキの川元壮一さん、仁子さん夫妻にお話を伺いました。

「シェアハウス TACOBUNE」は東京出身の田中泰子さんが、移住希望者に良い空き家を見つけて定住してもらうことを目的に運営。入居者は最大3人で、移住希望者も安心でき、地域の人も知り合ってから家を賃せるという仕組み。



田中宮の3名と"移住者あるある"で盛り上がる

た 出身の僕が聞くのもなんですけど、岩美の魅力って何ですか？

川元仁 自然が近くにあるのがいいよね

田中泰 海と山との距離感がいいよね。食材にも旬がある。そういえば海なし県から来る人が多いな。

か 奈良出身ですが海なし県はあこがれがヤバイです。

し 岩美暮らしの大変なところはなんですか？

田中泰 東京で近所づきあいをしてこなかったから、大丈夫かなと思ったけど、全然大変じゃないな。

川元仁 布団はより込まなあかんで、とか言われるけど、ああ、気にしてくれてるのかな、って思うな。

し 大学そばの市営住宅に住みながら、自治会や地域で活動するプロジェクトに参加しているんですけど、カーテンしまっとったな、とか遅まで電気点いってなとかたまに言われます。近いところがありますね(笑)

川元仁 お母さんがいっぱい、みたいな感じやね(笑)

か ここを始めるきっかけは何だったんですか？

川元壮 サーフィンして通ってたらこの場所が気になって、何かしよう、という位やな。飲食もしたことなかったけど、色々考えたらカフェかな、と思ってここ買って始めたんよ。

た おっしや俺も稼ごう！

川元壮 まあ、稼ぐなら都会がいいし、お金めっちゃ持って移住してる人はあまりいーひんけどな(笑)

川元仁 そうそう、DIY でみんなで塗ったりして。

### 10:30 元岩美町役場 川上寿郎さん

元岩美町役場に勤務されていた川上寿郎さんにお話を伺いました。

川上さんは、1990年代後半に岩美町で深海魚の「ばばあ」「ばばちゃん」(タナカゲング)ブームを起こした方。

鳥取県の冬は松葉蟹が旬、県内水揚げ量1位の岩美が取り上げられず、川上さんは鳥取港ばかりが取材されるのを悔しく思い、地元の魚屋でタダでもらえるような雑魚の「ばばあ」を使った料理での町おこしを思いつく。

地元の方の協力を取りつけ、「ばばあ」料理のフルコースを温泉旅館や民宿と企画し、全国から取材が殺到。今は退職されてご自分の船で海に出ておられるとのこと。



川上さんとお話も Cafe ニジノキで

川上 「ばばあ」を扱わんか、と民宿旅館に提案したら、蟹があるのになんでばばあなんや、って言われてな。観光協会と開催した発表会に料理人が来て、『料理やったら、わしのほうが腕がええ』と言うから『じゃあやってえな』と言った(笑)。

川上 大々的な試食会をやったらNHKの高山哲哉さんっていうアナウンサーがラジオで発信してくれ、全国でニュースになったんよ。テレビ、全国紙、地方誌、全部来たし、『笑っていいとも』にも出たで！

一同 マジすか！

川上 ばばあだけの取材は断る、とマスコミに言った。鳥取市内とばばあではあかん、と。岩美町の浦富海岸、岩井温泉をセットで放送しないと取材は受けません、と言ったら、企画がその通りになったわ。一時期ばばあを1本1万円で買うような時もあったな。

し タダで配ってた魚なのに...すげえ！

た 物心ついた時には有名だったから、ずっと地元岩美の名産だと思ってた。誰かが動いて変わっていくんだな...

川上 「ばばあ」ってスマホで検索したらすぐ出てくんでえーと、『主に成人女性、特に高齢女性に対する...』

し それ違うやつ(笑)

川上 学生さんがこうして知りたいと思ってくれることは、本当にありがたい嬉しい。今も漁師たちの取った魚が少しでも高く売ってほしいと思って、魚価をあげる取り組みを考えてる。



魚が食べられないことを伝えたら笑顔で「バカ野郎だな」といわれるかしよう

### 16:00 もちがせ週末住人

浦富海岸、田後漁港を散策し、2004年の大合併で鳥取市に編入された用瀬へ。この日の宿泊は、2016年夏から公立鳥取環境大学の学生が体験型民泊や国内版ワーキングホリデーなどの取り組みをしている「もちがせ週末住人」へ。夜は代表の岩田さんが地域の方々に声をかけ、歓迎会を開いてくださいました。



用瀬週末住人です

岩田 地域と表面的で利他的な関係になるのが嫌だったんです。きちんとその土地に住んで、生活することで地域の方と一緒に何かしたいと思っていました。

し 僕らも田中宮市営住宅に住んでいる点では一緒ですね。僕は田中宮市営住宅に住む前、別の団地に外部から関わってきたんですが、田中宮では住民だからこそ気付くことやできることをしたいと思っていました。でも、生活を続ける中で、それがあまりできていない気がして...

岩田 僕らは住民になって最初に、近隣のマップを作りました。土地の情報や歴史を理解して、外の人に伝えられ、凄くよかったです。

し なるほど！

岩田 あとは「鍋部」という部活動を作って、毎月マジで活動しています。この前で26回目を迎えました。

一同 26回！

地元の方 ちょうど『もちがせ週末住人』も岩田君が院を修了して代替わりで、転換期でもあるから、これからが大事だよな。

し 僕らの取り組みも、来年から、入居者が6名に増えるんです。僕も4年生になるので活動できる最後の年になります。一杯ヒントもらえました！



用瀬は「流しびなの里」。旧暦3月3日に流し雛が今も続く



用瀬を散策する横地さんと3人

## 3日目

### 11:00 鳥取民藝美術館



民藝美術館、たくみ芸店、たくみ割烹店が並ぶ。道路の向かい側には吉田璋也氏の元病院と子孫の方の歯医者がある

朝、もちがせ週末住人のインターン学生に別れを告げ、用瀬駅から電車、バスで鳥取砂丘へ。砂丘からの帰りに、しばゆうの希望で、鳥取民藝美術館へ。

し この椅子かっちょええなあ！

横地 この椅子は鳥取家具工業のもんですね。小島基さんという人が、県内の職人に対してデザインの指導を行いました。この椅子は「曲木」という蒸した木材を型に嵌めて曲げる、大規模な設備投資が必要な工法で、ライフスタイルの変化により近年この会社はなくなってしまいました。

横地 芸術品でなく、普通の庶民の人々が使う器や家具の中に美を見出した民藝運動は、鳥取のお医者さん、吉田璋也さんが産地を丹念に回って指導して鳥取に根付いたんです。この方も言ってみれば「変人」ですよ。

### 14:00 鳥取駅

鳥取駅でお世話になった横地さんとお別れ。

横地 学生の方が鳥取にこうやって来てくれて、触れてもらえるのは本当にうれしいです。一緒に旅行できて楽しかった！また鳥取に来てな！

一同 はい！本当にありがとうございました！



おしまい



「ばばあ」の呼称で岩美町民に親しまれているのが、深海魚のタナカゲンゲ。身は上品で淡白、鍋料理が「ばばあ鍋」「ばばちゃん鍋」として愛されている。

身はぬるぬると滑るため、金たわしでぬめりを落とし、捌く際も左手に軍手をはめる必要がある。

身はふりふりとした食感、ゼラチン質の皮のコリコリとした食感など、部位によって異なる食感が楽しめるほか、コラーゲンが豊富。

頭は脳天から二つに割り、煮付けにすると絶品。頬の肉が締っている。身は鍋や唐揚げに。

今は町の冬を代表する特産品の一つに定着した。1990年代後半のブーム時から、醤油、みりん等で炊く鍋が多かったが、近年は出す店が少なくなり、若い人に食べてもらいたい、と、味噌、コチュジャン、トマト、ニンニク、生姜で味付けした「地獄鍋」を開発、そのレシピはコンテストで優秀な成績を納めた。チーズと中華そばの締めも最高。

### 材料 (4人分)

- ばばあ … 1匹 (だし)
- 白菜 …… 4枚 …味噌
- 長ネギ … 1本弱 …トマト地元産
- 豆腐 …… 半丁 …コチュジャン
- 春菊 …… 3分の1束 …ニンニク
- えのき … パック …生姜
- しいたけ 2枚 …和風だし
- くずきり 適量 …チーズ、中華そば
- にんじん

### 作り方

- ① ばばあのぬめりを金たわしでしっかりと落とし、内臓、頭、ひれを切り落とし、3枚におろす
- ② ①を適当な大きさにぶつ切りにし、熱湯をくぐらせ冷水でしめる
- ③ だしを加える
- ④ ③にばばあを入れ、一煮立ちさせてから、適当な大きさに切った野菜を入れて煮る



ばばあ (ばばちゃん)



人生で初めてさばいた魚が「ばばちゃん」になったしばゆう

### タナカゲンゲ (田中玄華)

顎口上目硬骨魚綱条鰭亜綱新鰭区棘鰭上目スズキ系スズキ目ゲンゲ亜目ゲンゲ科マユガジ属

海水魚、水深120-870mの北海道オホーツク海、北海道～山口県の日本海沿岸。朝鮮半島東岸中北部、間宮海峡、サハリン南岸、サハリン周辺のオホーツク海に生息。ズワイガニをとる底曳き網に混ざるもので、古くは練り製品の原材料となるくらいであったが、鳥取県岩美町で利用する機会

が増加。白身でやや滑りが多いもののクセのない味わいで、料理法を選ばない。冬期に旬を迎える。呼称は北海道ではナンダ、石川でシャデ、福井でキツネガラ等。島根、鳥取ではババ、ババアと呼ばれる。由来は諸説あるが、鰹の寄った頭部がお婆ちゃんに似ているからと言われている。

引用：ぼうずコンニャク株式会社ホームページ



## 祝 鳥取県と龍谷大学の協定締結10周年



龍谷大学は2010年に鳥取県との連携に関する協定を締結し、2020年は記念すべき10周年！鳥取県内の企業にとって人材確保が課題となる中、県内の活性化を図るため、県外進学者の約半数が進学している関西圏において、最も進学者数が多い本学と締結。これからますます鳥取県との関係、UNLIMITED！協定締結当時、鳥取県出身で本学の学長だった若原道昭先生から、メッセージをいただきました。

### 鳥取県と龍谷大学との連携協定締結10周年にあたって

若原 道昭

大学創立370周年にあたる2009年に鳥取県関西本部の本部長さんが来学され、鳥取県内の高校卒業生が毎年最も多く進学している大学である龍谷大学と鳥取県との間で何らかの連携協力ができないか、というご提案を頂きました。全国展開をめざす龍谷大学にとっても有り難いことであり、本部長さんの並々ならぬ熱意と期待にも動かされて、翌年にかけて具体化に向けた話し合いを重ねた結果、若者の県外流出に歯止めをかけたい県と、学生の就職支援に力を入れたい大学の意向が一致し、これを軸として、当時はまだ殆ど他に例のなかった県と大学との間の包括的な連携協定の締結に至ったのでした。これが先鞭をつける形となって、その後龍谷大学は他の自治体と、鳥取県は他の大学と、それぞれ次々と協定を結び連携拡大と内容充実を進めてきています。今日までの関係の皆さまのご尽力に感謝するとともに今後より一層の連携の深化・発展を願っています。



若原道昭学長(当時、左)と平井伸治知事(右)

### 龍谷大学と鳥取県との連携の歩み

- ・2010年7月14日 鳥取県 - 龍谷大学間で包括連携協定を締結
- ・2010 Ryukoku Extension Center REC コミュニティカレッジ連携公開講座開始 (2010～2013)
- ・2011 八頭町でのフィールドワーク、企画案提案  
とっとり産業フェスティバルでの研究シーズ紹介 (2013,2014)  
県内高校との合同吹奏楽演奏会 (～2012)
- ・2013 智頭町での林業・森林体験プログラム  
旅育事業(旅のよさ体験と鳥取の魅力拡散) (～2014)
- ・2014 鳥取視察&意見交換 (2014 農学部、2016REC)
- ・2016 龍谷大学 × 鳥取県 × 鳥取大学ジョイントセミナー (2016)
- ・2017 社会連携・社会貢献活動報告会でのブース出展 (～2018)  
その他、「ととりの集い」、「ふるさとタイム」を毎年恒例で実施

### 「吹奏楽フェスタ in 鳥取」を2020年度に開催

日程：2021年2月13日(土)  
場所：とりぎん文化会館(鳥取県民文化会館)  
※その他詳細決まり次第大学HP等でご案内します。



### 取材後記



#### たなかず

岩美町、鳥取の温かみを感じて、知ることでより好きになって、改めて鳥取県最高！って思いました笑。たぶんそれは地元だからって言う視点もあると思って、皆さんも同じようなことを地元で思うんだろうなって思います。また素敵な街は、そこに居る人たちが成り立っているのだと、実感できました。外部からの力より、生活者の視点からの改革は、とても良い発想なのではないかと感じました。経緯とか思いの伝え方など、たくさんのヒントをもらえる取材ができて、楽しかったです！



#### しばゆう

自分の知らない鳥取を沢山知ることができました。田中宮市宮住宅に入居して1年、楽しく暮らしている一方、何かしたいと思って入ったのに、自分から何もできていないと思っていました。今回、自分で考えて動いている当事者の話をお聞きして、皆さんががんばってはって、自分のモチベーションも上がり、3Lの活動に活かせるヒントが沢山ありました。あと1年の大学生活、自分からアクションを起こしたいと思います！本当に沢山の学びと最高の笑いで楽しい3日間でした！



#### かしよう

自分自身が知らなかったことや、同じ地域に大学生として関わっている先輩の方達、そして地域で活躍している方たちを見て、とても得難い経験を得ることができました！地域で活動していくため、3Lで活動していくため、自分の中で考えている起業、それぞれに視点が得られました。地域の資源を生かしながら、地域の課題に向き合いながら、持ち帰って自分たちなりにかみ砕いて落とし込んでいくことがとても楽しみです。学びだけでなくとても楽しい3日間を過ごせてとても楽しかったです。ありがとうございました！

